

独立行政法人国立公文書館における平成26年度業務実績に関する評価案（概要）

項目	主要な業務実績	館の自己評価	評価案	評定理由
I. 国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項				
1 体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・常勤職員化による人員体制の充実 ・平成27年度予算にて11名増員決定 ・収蔵スペース確保方策の検討のため書庫排架状況を把握 	B	B	・必要な体制整備を実施
2 移管に向けた行政文書等の管理に関する適切な措置	<ul style="list-style-type: none"> ・保存期間満了時の措置の適否に係る専門的技術的助言件数の増加(前年度比59%増) ・中間書庫業務の在り方を含めた適切な実施 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・作業効率化による助言実施件数の増加 ・残余分について速やかな助言実施が必要 ・中間書庫業務の適切な実施
3 歴史公文書等の受入れのための適切な措置	<ul style="list-style-type: none"> ・行政機関等から受け入れた歴史公文書等について、受入れから1年以内の利用提供の目標達成 	B	B	・受入れ後1年以内の利用提供に向けて計画的に実施
4 歴史公文書等の保存のための適切な措置	<ul style="list-style-type: none"> ・電子公文書等の移管・保存・利用システムを適切に運用 ・破損状況に応じた修復目標を達成 ・複製物作成計画に従い媒体変換を実施 	B	B	・電子公文書等の移管・保存・利用システムの運用、所蔵資料の修復及び媒体変換を適切に実施
5 歴史公文書等の利用のための適切な措置	<ul style="list-style-type: none"> ・要審査文書の審査処理数等の目標達成 ・土曜日開館日数の目標達成 	B	B	・要審査文書の審査、土曜日開館等を適切に実施
6 歴史公文書等の利用の促進のための措置	<ul style="list-style-type: none"> ・「JFK-その生涯と遺産」展の開催、成功 ・展示会入場者数の増加(前年度比50.6%増) ・デジタルアーカイブのアクセス件数が目標の38.5%増 ・新たな広報誌やツイッター、館オリジナル商品の開発、見学コースの整備等、広報や情報発信を充実 	S	S	<ul style="list-style-type: none"> ・「JFK-その生涯と遺産」展の開催、成功 ・国家として一体的になされた政策決定過程を国民が体験・実感できる展示として、有識者から高い評価 ・過去最高の展示会入場者数(52,840人、前年度比50.6%増) ・デジタルアーカイブのアクセス件数が目標の38.5%増 ・利用者サービス向上に向けた積極的な取組を実施
7 地方公共団体等との連携協力	<ul style="list-style-type: none"> ・全国公文書館長会議の実施、地方公共団体等が行う委員会等への講師派遣の実施 ・デジタルアーカイブ・システムの普及啓発等 	B	B	・公文書館の運営に関する技術上の指導又は助言等を適切に実施
8 国際的な公文書館活動	<ul style="list-style-type: none"> ・「JFK-その生涯と遺産」展開催に伴う日米国立公文書館交流 ・各種国際会議への積極的な参加 ・海外公文書館との交流、訪問受入れ ・諸外国の公文書館制度情報の収集・分析・提供 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・外国公文書館との交流推進(モンゴル公文書管理庁との新たな交流開始等) ・当初計画に加え、ICA東南アジア地域支部国際セミナーに参加 ・「JFK-その生涯と遺産」展開催に伴う日米国立公文書館交流の推進同展記念講演会開催により、る広報普及等をの促進及び積極的な国際交流の推進

項目		主要な業務実績	館の自己評価	評価案	評定理由
9	調査研究	・電子公文書の長期保存等に関する調査の実施、公表 ・特定歴史公文書等の保存及び修復並びに内容等に関する調査の実施、公表	B	B	・目標・計画に掲げた調査研究を適切に実施・公表
10	研修の実施その他人材の養成	・研修受講者数の目標達成(達成度35%増) ・高い受講者満足度 ・「国立公文書館専門職員(アーキビスト)養成等に関する検討取りまとめ」の作成	A	A	・研修計画の見直しによる効果の高い研修を実施(受講者数が目標の35%増)。 ・高い受講者満足度(全研修で「満足」、「ほぼ満足」が9割超) ・長期ライフステージを展望した専門職員養成の強化方策を取りまとめ
11	アジア歴史資料センター	・公開画像数の目標(累計約2,900万画像)達成 ・琉球大学附属図書館所蔵・公開資料の情報提供開始 ・大英図書館との共同作成によるインターネット特別展の実施	A	A	・データベースの拡充、利用者の利便性向上等を積極的に推進 ・琉球大学附属図書館所蔵・公開資料の情報提供開始 ・大英図書館との共同作成によるインターネット特別展の実施(海外機関との初の連携) ・国内外のニーズを反映した情報提供等により、研究者にとって不可欠な機関であるとの世界的に高い評価
II. 業務運営の効率化に関する事項					
	業務運営の効率化に関する事項	・定時退館日の着実な実施、調達案件の仕様の見直し、アウトソーシング化による業務効率化の推進 ・一般管理費(人件費除く)及び事業費の削減	B	B	・業務運営の効率化、経費削減、契約の適正化を実施
III. 財務内容の改善に関する事項					
	予算、短期借入金、剰余金に関する事項	・写しの交付等に係る手数料収入増、図録・音声ガイドの有料化、「JFK-その生涯と遺産」展関連グッズ販売による大幅な事業収入増(前年度比43.4%増)とともに、民間企業からの寄付金確保	B	A	・官民連携の必要性を踏まえた、初の民間企業からの寄付金確保による「JFK-その生涯と遺産」展の成功 ・事業収入の大幅増(前年度比43.4%増)
IV. その他の事項					
	その他内閣府令で定める業務運営に関する事項	・施設整備計画に基づく、つくば分館の整備 ・平成27年度予算にて11名増員決定となる人員体制の充実 ・館職員の研修への参加による人材育成等	B	B	・人員体制の充実や職員の人材育成等を適切に実施

総合評定:A

評定理由:平成25年度業務実績評価における指摘事項を踏まえ、歴史公文書等の利用の促進のための措置を積極的に講じ、高い成果を上げる(S評定)とともに、国際的な公文書館活動や研修の実施その他人材養成等において目標を上回る成果を上げている。また、全体の評定を引き下げる事象もなかったため、全体としてA評定と評価できる。